

**【韓国】岸田新首相の就任及び再任に対する韓国政府の反応**

2021年10月4日、青瓦台（韓国大統領府）の報道官は、同日、文在寅（ムン・ジェイン）大統領が岸田文雄新首相に就任を祝う書簡を送り、「韓日関係を未来志向的に発展させるために共に努力していこうという意を伝達」と発表した。同報道官は、文大統領は「両国が民主主義と市場経済という基本的価値を共有し、地理的、文化的に最も近い国として（中略）意思疎通し協力していくことを期待してい」とし、さらに文大統領が菅義偉前首相に対しても書簡を送り、在任中の労苦を評価し、退任後も両国間の友好協力関係の進展に尽力することを求めたことも明らかにした。同報道官は、韓国政府も「両国間の問題はもちろんのこと、コロナウイルス感染症や気候危機等の地球規模の課題についても互いの知恵を持ち寄り解決していくことを期待」とし、日韓両国の協力を強化していく意思を表明した。同日、韓国外交部（部は日本の省に相当）は、新内閣の発足を祝い、「岸田新首相及び新内閣とも積極的に協力して両国間の問題の解決法を模索し、経済・文化・人的交流等の諸分野において実質的な協力を強化するために継続的に努力していく」とする報道官論評を発表した。

同月15日、青瓦台の報道官は、同日、文大統領が岸田首相と電話会談を行い、就任を祝ったと発表した。同発表によると、文大統領は両国間の協力に対する期待のほか、①旧朝鮮半島出身労働者問題、②慰安婦問題、③北朝鮮核ミサイル問題等を取り上げ、①については「1965年の韓日請求権協定の適用範囲に対する法的解釈に違いがある問題」であり「外交的解決法を模索することが望ましい」とし、②については「被害者の方々が納得しながらも外交関係に支障を来さない解決策を模索することが何より重要である」という考えを示し、③については「金正恩委員長と条件なしに直接向き合うという岸田首相の意向を高く評価する」などと述べた。このうち①及び②について、岸田首相は同日の会見で「日韓関係は引き続き非常に厳しい状況にある旨述べた上で、日本の一貫した立場に基づき、韓国側に適切な対応を強く求め」としている。また、拉致問題について文大統領から日本の立場への支持が示されたと述べた。

第二次岸田内閣が発足した同年11月10日、青瓦台の報道官は、同日、文大統領が岸田首相の再任を祝う書簡を送り、「韓日関係の発展のために共に努力していこうという意を伝達」と発表した。

関西館アジア情報課・廣田 美和

- <https://www1.president.go.kr/articles/11191>
- [http://www.mofa.go.kr/www/brd/m\\_4080/view.do?seq=371596](http://www.mofa.go.kr/www/brd/m_4080/view.do?seq=371596)
- <https://www1.president.go.kr/articles/11250>
- [https://www.kantei.go.jp/jp/100\\_kishida/statement/2021/1015kaiken.html](https://www.kantei.go.jp/jp/100_kishida/statement/2021/1015kaiken.html)
- <https://www1.president.go.kr/articles/11452>